



2017年1月10日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社  
代表者 代表取締役社長 CEO 畑中 好彦  
コード番号 4503  
(URL <http://www.astellas.com/jp>)  
東証 (第一部)  
決算期 3月  
問い合わせ先 広報部長 臼井 政明  
Tel: (03)3244-3201

## UMN ファーマとの細胞培養インフルエンザワクチンの共同事業契約 解約のお知らせ

アステラス製薬株式会社(本社:東京、以下「アステラス製薬」)は、株式会社 UMN ファーマ(TSE:4585、本社:秋田県、代表取締役会長兼社長:平野 達義、以下「UMN ファーマ」)と2010年9月21日付で締結した、細胞培養インフルエンザワクチンプログラム ASP7374 及び ASP7373 の日本での共同開発及び独占的販売に関する共同事業契約について、解約権を行使しましたのでお知らせします。

解約の発効日をもって、アステラス製薬は、共同事業契約に基づいて UMN ファーマにより付与された全ての権利を同社に返還します。なお、アステラス製薬は、ASP7374 の製造販売承認申請を取り下げ、ASP7373 の開発を中止します。

アステラス製薬は、本件に関わるその他の無形資産の減損損失 40 億円を当期(2017年3月期)第3四半期に計上する予定です。その他の業績への影響については、現在精査中です。

以上

### UMN ファーマについて

株式会社 UMN ファーマは、Unmet Medical Needs(未だ満たされていない医療ニーズ)を満たす薬剤を開発する創業ベンチャーとして 2004 年に設立されました。大学や企業等の創業シーズの中から、医薬品になる確率の高いものを的確に選び出し、スピーディーに開発を進めます。現在、インフルエンザワクチン等を開発パイプラインに有しています。詳細については、UMN ファーマの HP(<http://umnpharma.com/index.html>)をご参照ください。

### 注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざま

まな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。